

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

● 第 5 次行政改革大綱第 1 次アクションプランとの関連	
☐ 有	
☒ 無	

1 ■ 事務事業の概要

1 - 1 事務事業の名称	観光史跡整備事業							
1 - 2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	産業振興課	係	商工振興係	評価票作成者	観光・消費生活担当係長 兼 子公司
1 - 3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興 「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			基本施策	観光	コード	3—3—4
	項	産業振興			単位施策(中)	観光施設の整備	コード	3—3—4—3
					単位施策(小)	観光史跡の整備	コード	3—3—4—3—1
1 - 4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	観光史跡等 8 箇所		意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）		桶狭間古戦場伝説地、阿野一里塚、名勝地二村山等の観光案内看板・駐車場・トイレ等の整備を計画し、順次整備する。		
1 - 5 事務事業の内容	観光史跡の設備等の整備を行う。							

2 ■ 事務事業実施の状況

2 - 1 事務事業の実施における基本認識		事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み			社会状況等の事務事業がおかれる環境把握			市民ニーズの認識			
	平成18年度	観光史跡の現状を見ながら整備が必要な箇所の状況を把握する。			観光案内看板、駐車場等の整備するための予算確保が難しい。			分かりやすい観光案内看板、トイレ等の整備等は、要望が高いと思われるので、順次取り組んでいく必要がある。			
	平成19年度	二村山展望台眺望案内板を設置した。			〃			〃			
	平成20年度										
	平成21年度										
	平成22年度										
	平成23年度										
	平成24年度										
	平成25年度										
	平成26年度										
平成27年度											
2 - 2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名				前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明				
	観光史跡等の整備箇所数（箇所）				2（箇所）	3（箇所）	観光案内板、駐車場、トイレの設置整備				
2 - 3 成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）	活動実績 a（箇所）	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	直接事業費 b（千円）	0	1								
	人件費 c（千円）	0	934								
	合計コスト d（b + c）（千円）	256	256								
	単位コスト d / a（千円）	256	1,190								
		1 箇所当たり -	1箇所当たり 1,190 当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績（活動数値）の補足説明 → 活動実績 ： 二村山展望台眺望案内板
直接事業費 ： 設置費用
人件費 ： 2名 × 10日 × 4h × 3,200円 = 256,000円

		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
２－４成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績（単位）	０（箇所）	１（箇所）								
	後期目標値に対する達成度（％）	０（％）	３３．３（％）								

３ ■ 事務事業の自己評価結果

３－１ 評価結果 （アウトカム自己分析）		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	単年度 担当課評価	A	A								

- ４段階評価結果

A ： 上位目的である施策に貢献しているので継続する

B ： 事務事業の実施手法や環境（予算的・人的）に改善が必要

C ： 縮小等、事務事業としての見直しが必要

D ： 事務事業の廃止が相当
- 判断の基準

必要性（必要な事務事業であるか）

公共性（公が実施する意味があるか）

妥当性（ニーズに対して投入が適正か）

効率性（結果に至る活動に無駄はないか）

有効性（活動の結果が上位の目的に貢献しているか）

市民満足度（事務事業が対象にしている市民を満足させているか）

		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
３－２ 評価の内容	平成18年度	観光案内看板等の整備の優先順位を検討していくこと。	二村山展望台周辺の整備を進める。	県観光施設費等補助金制度等を活用して必要な整備を順次取り組んだ。
	平成19年度	〃	桶狭間古戦場伝説地内観光案内板整備の検討を進める。	県補助金を活用して二村山展望台眺望案内板の整備に取り組んだ。
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

４ ■ 事務事業の総合評価結果

		結果	審査会による改善方向の指示
４－１ 総合評価の結果	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度	A	継続して事業を進めること。
	平成20年度		
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度		
	平成24年度		
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		